

～第4種踏切において発生した、列車と歩行者（2名）との衝突による死亡事故～

鉄道事業者名：日本貨物鉄道株式会社

事故種類：踏切障害事故

発生日時：令和2年10月18日 15時29分ごろ

発生場所：山口県^{ひかり}光市

山陽線 ^{ひかり}光駅～^{しまた}島田駅間（複線）

八王子第2踏切道（第4種踏切道：遮断機及び警報機なし）

神戸駅起点397k157m付近

<概要>

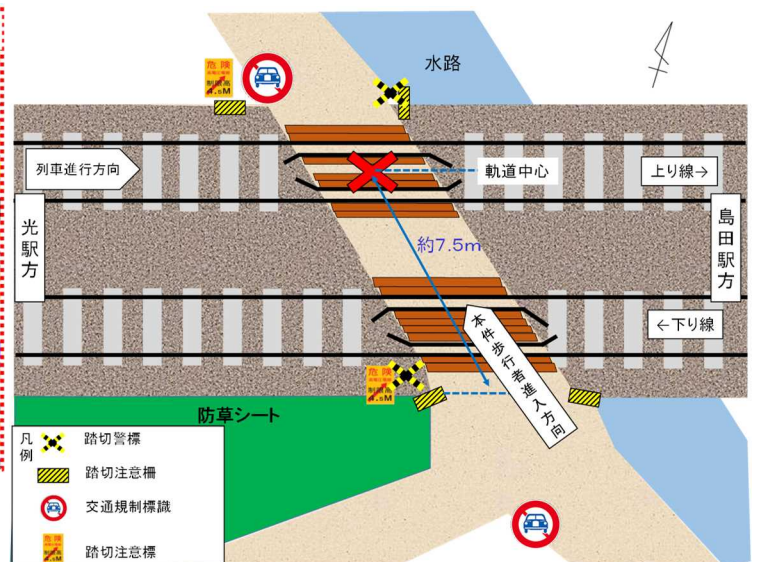
日本貨物鉄道株式会社の福岡貨物ターミナル駅発新潟貨物ターミナル駅行きの上り第2072列車の運転士は、令和2年10月18日（日）、光駅～島田駅間を速度約70km/hで走行中、八王子第2踏切道（第4種踏切道）の右側から進入してくる歩行者（2名）を認め、非常ブレーキを使用したが見、列車は同歩行者と衝突した。

この事故により、同歩行者（2名）が死亡した。

<事故現場周辺図>

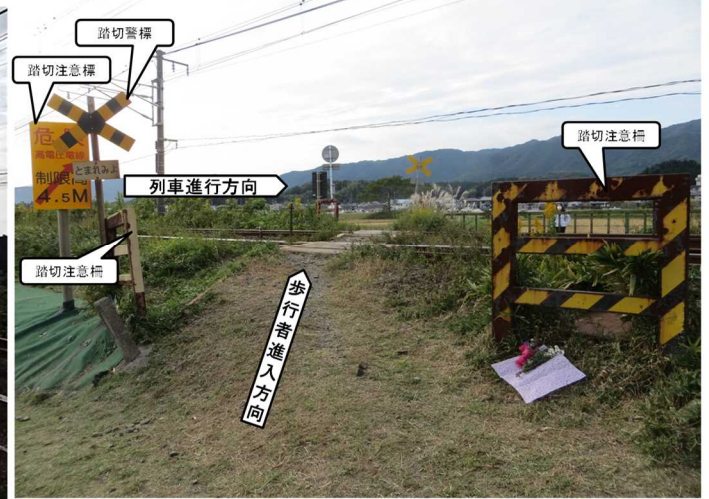


<八王子第2踏切道>



< 歩行者進入側から見た列車見通し状況 >

< 八王子第2踏切の状況 >



< 原因 >

本事故は、踏切遮断機及び踏切警報機が設けられていない第4種踏切道である八王子第2踏切道に列車が接近している状況において、歩行者（2名）が同踏切道内に進入したため、列車と衝突したことにより発生したものと認められる。

列車が接近している状況において、同歩行者（2名）が同踏切道内に進入したことについては、同歩行者（2名）が死亡しているため詳細を明らかにすることはできなかった。

< 再発防止のために望まれる事項 >

鉄道事業者、光市、地域住民等の関係者は、本件踏切の廃止又は踏切保安設備の整備に向けた協議を進め、早期に方針を定めて、具体的な取組を実施することが必要であると考えられる。また、線路下を交差する里道を活用することも考えられる。

なお、そのような措置を講じるまでの間については、主要地方道光玖珂線（県道）から本件踏切に進入する者に対する注意看板の追加等の対策を検討するとともに、踏切直前で一時停止し、安全確認することについて周知することが望ましい。

詳細は、運輸安全委員会ホームページ (<http://www.mlit.go.jp/jtsb>) より、鉄道事故調査報告書をご覧ください。